

白井さん 小中高生に金言



参加者の練習を見守る白井さん（左端、和歌山市で）

体操教室「可能性気づける選手に」

2016年リオデジャネイロ五輪体操男子団体金メダリストの白井健三さん（29）が和歌山市の県立和歌山北高校を訪れ、体操教室を開いた。

県スポーツ協会の「トップ強化コーチ招へい事業」の一環。3日、県体操協会の呼びかけで集まった県内の小中高生ら計約20人が参加した。

白井さんは「ゆか」などの種目で実演を交えて指導。得意なひねり技を披露すると、大きな拍手が起きた。参加者に対する質問に

も応じた。白井さんは「できないと決めつけるのではなく、自身が持つ可能性に気づける選手になってほしい」と話した。

同高3年の田宮琥太郎さん（17）は「教えてもらったことを生かし、インターハイ（全国高校総体）決勝を目指す」と意気込んでいた。海南市立海南中3年の上野友雅君（14）は「白井さんの『難しいと思うから難しくなる』という言葉が印象に残っている。白井選手のようにひねりがうまい選手になりたい」と話した。